一般社団法人 神奈川県歯科技工士会　第26代会長就任所信表明
（本会支部組織の5支部再編成宣言書）

一般社団法人 神奈川県歯科技工士会　**第26代会長　青木　彰**

第3回社員総会に於きまして任期満了に伴う理事役員選挙が行われ、11名の立候補者が理事として承認されました。
その後、臨時理事会において互選により代表理事を選出し、一般社団法人 神奈川県歯科技工士会の第26代会長職を拝命いたしました青木彰です、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。なお副会長には三好章善氏と河西武嗣氏の両名、専務理事には辻光章氏を任命致しまして三役が決定致しました。ここにご報告申し上げます。

会長職を拝命するに際し、私の所信を申し上げます。
2年前にもお話し致しましたが平成元年には約800名が在籍していた会員も、現在280名と毎年減少しております。このまま毎年 10～15 名の仲間が本会を脱退していくなかで、何らかの手段を講じなければ 5～6年で200人を割り込むことが予測できます。
今まで2年間は本執行部の施策として「財政の立て直しと会員の増強」を掲げて、危機感を持って会務を推進してまいりました。
そのなかで「新法人格への移行とそれに伴う定款及び諸規程の改正や本会ホームページのリニューアルを完遂し」また「新たな仲間の受け入れ窓口として準会員制度を制定し」さらに「本会支部組織の5支部再編成を完遂するために様々な施策や準備を行い」また「未来志向の新たな福祉共済制度の確立」を行ってまいりました。
「財政を立て直す」ことに関しては1年目に徹底的な緊縮財政型、2年目には成長戦略型の予算立てを行い収入と支出のバランスを整えながらも、必要な施策には大胆に予算を振り分けメリハリのある予算執行を行ってきました。
任期中においては2年間とも黒字にて決算することができ、1つの目標は達成できたと自負しております。

そして長年の懸案事項でございました本会の支部組織の再編成でございますが、皆様ご承知のとおり平成19年度 第34回代議員会・第56回総会において、第5号議案として「組織改革特別実行委員会報告の件」が議案上程され承認成立いたしました。
その時から神奈川県歯科技工士会をつかさどる 23 支部を、5 支部へと再編成する準備が行われて来ました。
神奈川県歯科技工士会の歴史をひもときますと、歯科技工法が施行された翌年の昭和31年に約250名の会員と共に設立され、初代会長として矢部金次郎氏が就任いたしました。
当時支部は10支部が存在し現在にいたるまでの約60年間、会員数の増減にあわせて支部も設立や統廃合を行って来ました。
そうして今回5支部に再編成することは、本会の未来にとって非常に大きな意味を持っております。
それは単に今までの支部を再編成することに留まらず「法人格を持った団体としての責任と役割を果たすべく」組織の体制が大きく変わると歴史の1ページを刻むことであります。
これからは、「大きな支部と小さな県技」を標榜し支部と県技の「役割・目的・ルール」を明確にするなかで「支部とは法人格を持った本会を支え構成する組織である」ことを再認識し「担当する行政や歯科医師会や地域住民」としっかりと連携を取っていただくなかで、支部の活性化を図り組織拡充に繋がる施策になることを願いまして『本日より神奈川県歯科技工士会の支部組織を新たに、川崎支部・県央支部・湘南支部・横須賀支部・横浜支部の5支部に再編成すること』をここに宣言致します。

新執行部としては今まで準備してきた施策を運用し、今後の2年間で徹底した「会員の増強」を新しい発想のもと実行力を持って邁進して参ります。
そして、1期2年という短い期間ではございますが、新執行部一丸となり、皆様と共に未来志向の神奈川県歯科技工士会を具体的に実行すべく、会務に努めてまいります。
最後に成りますが、会員の皆様のご理解とご協力を改めてお願いして、私の会長就任所信表明と致します。